

文化に親しむ豊かなくらし

町立図書館や中央公民館は、いつも多くの人でにぎわっています。両施設とも4月から指定管理者により運営されています。

図書館は気軽に本に親しめるほかに、調べ物もでき皆さんの生涯学習を応援します。

中央公民館では、大ホールや研修室などを使った催しや、文化を通じた仲間づくりが盛んです。

ここでは、新しい館長により運営されている両施設の概要と催しを紹介します。



いきいきと暮らす 中央公民館

中央公民館には、大ホールや研修室など9室があり、皆さんの生涯学習、文化活動の拠点として利用できます。

町、教育委員会、公民館が主催する講演会や講座を始め、いろいろな団体が、さまざまな事業を行っています。公民館では、年間9万人の方が利用しています。

1階のロビーでは、いろいろな展示をしており、喫茶コーナーでくつろぐこともできます。

こどもから高齢者まで
公民館では夏休みや冬休みなどに親子を対象とした体験教室を開きます。
また、高齢者の方を対象としたことぶき大学を開講しており、一般の方でも参加できる公開講座も予定しています。
公民館では他にも地域史探訪講座やクッキング教室など、幅広い事業を展開します。
県の補助による県民交流広場の活動や、美術展、文化発表会、サークル活動などもあり、あなたも公民館を活用し、いきいきと暮らしませんか。

中央公民館 佐伯 館長



事業内容も充実 公民館のご利用を

NPO法人まちづくりサポートはりますが、指定管理者に選ばれました。私たちは皆さんと協働し、公民館を核とする町づくり事業を行い、住民主体のこころ豊かなふるさとづくりを目指しています。

ことぶき大学、サークル、各種事業の内容も充実していきます。今年も元気で安心、生きる力をはぐくむ公民館を目指してがんばります。

皆さん、ぜひ中央公民館をご利用ください。

中央公民館

☎0794(37)6980

◇開館時間
午前8時30分～
午後9時30分

◇休館日
第3日曜日、年末年始



郷土資料館では 楽しく古代体験

播磨町には、国指定史跡の大遺跡をはじめ、今里傳兵衛やシヨセフ彦の生誕地など貴重な文化遺産があります。
郷土資料館では、その歴史と文化遺産について、わかりやすく展示しています。

大中遺跡や古代人のくらしを、より多くの人に理解してもらうため、行事のない土日にも、まが玉作りや土器作りが楽しめます。



郷土資料館

☎0794(35)5000

◇ホームページ
<http://www.ddknet.ne.jp/~h-oonaka/>

◇開館時間
午前9時30分～午後6時
(10月～3月は午後5時まで)

◇休館日
月曜日(祝日の場合、翌日)、
年末年始、特別展前後

町立図書館 図書館に行きませんか

町立図書館の蔵書数は11万7千冊あり、一般書だけでなく児童書、雑誌や新聞などもとりそろえ、幅広い年代の方が利用しています。一人本5冊を、2週間まで借りることができ、年10万人の方に、36万冊を貸し出ししています。

図書館の入りにくくは、読みたい本を探せる、タッチパネル式の機器が置いてあり、本の名前や著者、ジャンルなどから検索でき、とても便利です。
カウンターには、新刊の本を



紹介しており、くつろいで本を読むことができるコーナーも設けています。

子どもたちに感動を

図書館では、第1火曜日にたっせのおっちゃん紙芝居を、その他の火曜日に親子で絵本を楽しむ会を開いています。
土曜日には小学生以下を対象に、おはなし会や手づくり会があります。

これらの行事は、図書館ボランティアの皆さんにより、楽しく行っています。また、絵本を楽しむ会やおはなし会でシールを集めると、プレゼントもあり

町立図書館 前野 館長



図書と情報を得る 書齋、憩いの場に

図書館は、書店と違い「館」の字が示しているように、資料情報の蓄積されている建物です。図書に親しんでいただくだけでなく、生活に必要な情報などを得る、調べ物をするなどの「場」です。

みなさんの書齋、憩いの「場」としてご利用いただければと思っています。

スタッフ一同、みなさんのご利用をお待ちしています。

町立図書館

☎0794(37)4500

◇ホームページ
<https://www.library.harima.hyogo.jp>

◇開館時間
午前9時30分～午後7時

◇休館日
第2、第4水曜日、年末年始、
特別整理期間(7日間)

土曜日のビデオ上映会や第2日曜日のアニメ映画会など、楽しい催しが盛りだくさんです。

「ハッピー文化祭」

播磨西小学校



▲おばけやしきの長い列

「このっしやい!! ころっしやい!!」 「楽しいよ、よってみて」 元気のいい呼び声が高学年の教室や体育館、運動場から響いていました。2月24日(金)、子どもたちが楽しみにしていたイベント株式会社主催の「ハッピー文化祭」がありました。大人気の『おばけやしき』や『めいろ』では行列ができ、男子に人気の『ショットガンタッチ』や『ストラックアウト』では、何回も記録に挑戦していました。低学年の子どもたちには、やり方や手本を示しながら、優しく接する高学年の子どもたち。「来年もやりたいね」「もっとお店を回りたいかったな」。どのお店からもにぎやかな笑い声が響くひとときでした。

▼ストラックアウト



「このっしやい!! ころっしやい!!」 「楽しいよ、よってみて」 元気のいい呼び声が高学年の教室や体育館、運動場から響いていました。2月24日(金)、子どもたちが楽しみにしていたイベント株式会社主催の「ハッピー文化祭」がありました。大人気の『おばけやしき』や『めいろ』では行列ができ、男子に人気の『ショットガンタッチ』や『ストラックアウト』では、何回も記録に挑戦していました。低学年の子どもたちには、やり方や手本を示しながら、優しく接する高学年の子どもたち。「来年もやりたいね」「もっとお店を回りたいかったな」。どのお店からもにぎやかな笑い声が響くひとときでした。

楽しかった 一日入学

蓮池小学校



▲連れて行ってあげるね

この時だけは、お兄ちゃんお姉ちゃん気分でした。

3月2日(木)に、幼稚園や保育園の園児たちを招いて、新1年生向けの一日入学を行いました。体育館では、生活科で作ったおもちゃランドに園児たちを招待しました。おもちゃランドは、24個のお店が出店。迷路あり、魚釣りあり、ストラックアウトあり…。かわいい手作りのおもちゃばかり。子どもたちの元気な呼び込みでみんなワクワク。楽しかったです。その後、園児たちと手をつないで学校案内をしました。「ここが僕の教室やで」得意そうに教えている子どもたち。 たのしかったよ。1年生せんぶまわったよ。つれていきよったら、いつのまにかわらって来たよ。(1年 女子)

6年生を送る会

播磨小学校



3月15日(水)に、6年生を送る会を行いました。1年生と手をつないだ6年生が、花のアーチをくぐって入場。1年生から5年生までの心のこもったプレゼントや出し物は、6年生への感謝の気持ちがいっぱい詰まっていた。すてきなものでした。そして、6年生から5年生への校旗の引き継ぎ。5年生が「6年生のあとを受け継いで、りっぱな播磨小学校にしていきます」と誓いました。

最後に、くす玉をわり、6年生にメッセージがあらわれると、感激で涙する6年生もあり、6年生を送る会は感動的に幕を閉じました。



6年生「ありがとう! さようならー!」

野添の交番に行ったよ!

播磨北小学校



▲よろしくお願いします

3年生は、3月3日(金)に社会科「くらしを守る」学習として、野添の交番でおまわりさんの仕事を教えてもらいました。制服についている階級章や、落ちないようにひもがついている持ち物などを見せてもらいました。交番の中には播磨町の大きな地図が貼ってありました。おまわりさんは、夜も寝ないでパトロールして、私たちの町の安全を守っていることがわかりました。今度交番のそばを通ったら、あいさつしたいなあと思います。



おめでとう「第27回卒業式」

播磨南中学校



▲卒業おめでとう

前日の雨も上がり、春の陽射しがうつすらと明るく3月23日(木)、第23回播磨南中学校卒業式が行われました。後を引き継ぐ4、5年生が中心となって準備をした会場には、卒業制作のステンドグラスが飾られ、整然とした中にも温かい雰囲気。保護者の方が見守る中、卒業証書の授与が始まりました。6年間の思い出や支えてくれた人達への感謝を語る「別れのことば」では、思いを込めたメッセージや元気な歌声が体育館に響き渡り、感動を分かち合うことができました。

3月10日(金)、151名の3年生が「日本の母校・播磨南中学校」を巣立っていきました。3年前、大雨の中での入学式。まだ幼かった彼等の姿が今でも昨日のこのように浮かんできます。式の中では一人ひとりの呼名で感極まって声を詰まらず担任もありましたが、全員が立派な返事を返し、柴田光貴君の答辞には涙腺がゆるみっぱなしでした。そして、式後の卒業生合唱「旅立ちの日に」は会場全体を感動が包み込みました。退場のBGMは予餞会で歌った「Oh My Friend」です。ここで卒業生の感動は最高潮に達し、特に男子の涙の多さにはびっくりするほどでした。なんと純朴な生徒の多いことかと改めて感じさせられました。高校進学、専門学校、就職と4月から生きていく場所も内容もそれぞれですが「日本の母校・播磨南中学校」は彼等の心の中に一生輝き続けることだと信じています。卒業おめでとう。

49人 さわやかに旅立ち

播磨南小学校

49人の卒業生はそれぞれの未来に向かって新しいスタートを切りました。別れは少しさびしいけれど、別れの後には必ず新しい出会いが待っています。さわやかに一歩一歩前進してくださいね。

予餞会行われる

播磨中学校



▲2年生のみんなありがとう

去る3月3日(金)、予餞会が行われました。2年生の生徒会役員が取り組む初めての大きな行事です。映画鑑賞に続き、先生たちの幼い頃の写真を見て誰なのかを当てる「私は誰でしょう」、2年生全員による混声三部合唱「時の旅人」、先生たちからの出し物など、趣向を凝らした楽しいプログラムが行われました。生徒会役員も計画立案、運営等々、フル活動でした。おかげで卒業を前にした3年生の心を和ませます和気あいあいとした行事となり、楽しい思い出の一つにすることができました。

生徒会執行部発足

播磨南高等学校



▲学年最後の球技大会

昨年度まで、執筆を担当していた第21回生徒会から第22回生徒会に引継がれましたので、本年度から第22回生徒会が執筆を担当します。3月7日(火)球技大会が行われました。種目は、男子がサッカーで、女子がバスケットでした。男女とも学年で最後の行事とあってか、クラス全体が一つとなって力を合わせて頑張っていました。どの試合も非常に白熱したものとなりました。そして、激戦を勝ち抜き優勝を手にしたのは、女子は1年2組と2年1組、男子は1年7組と2年1・2組でした。どのクラスも全力で競い合ったとても素晴らしい球技大会となりました。これから1年間自分たちのできる限りの力で頑張りますので、よろしくお祈りします。

あっちで笑顔、こっちで真剣、 障害者ミニスポーツ大会



3月26日(日)、はりまシーサイドドームで、障害者ミニスポーツ大会が開催されました。参加した人は、おなじみのミニゴルフやクオリティのほか、紙ひこうきや、パズルなど種目を終えるたびにスタンプを押してもらい、互いにいくつチャレンジしたのかを見せ合って楽しんでいました。

パズルの前で、考え込む友人の傍で、「それはあっち、これはこっち…」と、ついつい声を出して応援している人は「人がしているときには、よくわかるような気がするけど、自分がすると難しいですね」と、笑っていました。

▲「私が押すからね」

リサイクルを通じて、 ものづくりの楽しさを体験

ガラス製時計作り教室に来ていた参加者にお話を伺いました。

「前に、風鈴つくりに参加しました。子どもがものを作ることが好きなので」と話すお母さんの隣で、子どもたちは自宅で作ってきたデザイン通りに、きれいに色を並べて熱心で作っていました。

加古郡リサイクルプラザでは、牛乳パックを再利用して紙すきをしたり、食用油を回収して石鹸作りをしたりできる体験教室があります。吹きガラスなど、継続して作品を作りたい人のための教室もあります。



▲大人も取り組める教室があります

ダブルで祝!! 播磨中学校、播磨南中学校女子 バレーボール部が揃って近畿大会出場

3月28日(火)、29日(水)に大阪市中央体育館において、第38回近畿中学生バレーボール選抜優勝大会が開催されました。兵庫県大会を勝ち抜いた6校が出場する中で、播磨町からは播磨中学校と播磨南中学校が出場しました。

「初出場播磨中学校と、過去4回出場している播磨南中学校。2つの中学校が揃って出場するということは、とてもすばらしいことです」(播磨中学校 東條教諭)



「まず、一勝。大きな大会を楽しみたい。悔いのない試合をしたいと思います」
播磨南中学校教諭

「自分たちが持っている力を発揮して、試合中にいいプレーをすることができたときが一番うれしいから、近畿大会でもいいプレーができるように頑張ります」
播磨中学校教諭



両校が大阪に向かうバスに乗り込むとき、応援に駆けつけた卒業生の溝上早紀さんは、「私たちが参加したとき、会場の人の多さに緊張をしてみましたけれど、みんなには緊張しないで練習と同じようにプレーしてきて欲しいと思います」と、声援を送りました。

「平常心で戦つてこの難しさを痛感しました。緊張の中でナイスプレーもたくさんありました。この経験を力にしてこれからも頑張ります。」(播磨南中学校 若山教諭)

※結果は 播磨0・2能登川(滋賀)
播磨南0・2烏丸(京都)

播磨ゆめづくり塾 活動発表会開催

3月25日(土)、中央公民館にて、播磨ゆめづくり塾の活動発表会が開催されました。播磨ゆめづくり塾とは、住民自らがまちづくりについて、調査・研究をするグループで、平成17年度は5つの塾が活動しました。

当日は、5つの塾の発表と、まちづくりについての提言がありました。また、以前塾として活動し、現在もまちづくり活動をされている2つのグループも発表に参加。平成10年度から3年



間活動し、その後も自主活動を続けていく「いいかん夢アート」代表の井上さんは、「塾として3年間リサイクル活動をし、リサイクルの大切さはもちろん、物事の見方、考え方、人とのつながりなど大切なことをたくさん学んだ。その後、手作り楽器などを持って慰問活動をしている」と話されました。

ふれあい・いきいきサロンを楽しくするために、 まずは自分が楽しもう

3月18日(土)、健康いきいきセンターで平成18年度ふれあい・いきいきサロン「レクリエーション研修会」が開かれました。ふれあい・いきいきサロンは地域での福祉活動の基盤となる高齢者のコミュニティづくりの場です。この日の研修には、ふれあい・いきいきサロンを支える自治会から85人の代表者が集まりました。

講師の田島栄文氏(甲子園短期大学 家政科介護福祉コース専任講師)は、「楽しい雰囲気、気軽に参加できる雰囲気を作るために、会を進める皆さんが楽しむことが大切」と伝え、体を動かして参加できるゲームで、会場の空



気をあつという間に和ませました。童謡を歌いながら、肩や腰やひざをたたくゲームでは、歌い終わると上手にできてもできなくても、自然に隣の人と笑顔で言葉を交わすことができました。

最終笑いとおしゃべりの絶えない研修会でした。



わんぱくはりまっ子



ひろしの 廣瀬 梨乃ちゃん(2才)・りょうや 凌也くん(3才)
野添

強く優しく思いやりのある子に育ってネ!
(お父さん・お母さんより)



このコーナーに出ていただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(未就学児) 広報担当まで電話を。またスナップ写真を送ってもらってもけっこうです。

楽屋裏

満開の桜の下、土曜日に喜瀬川、日曜日には野添北公園でお花見しながらお弁当を食べてきました。皆さんはどこで春を楽しんでいますか?遠くまで出かけなくても町内にあるたくさんの「春」を楽しみたいですね。4月から新しい生活が始まった人も多いのでは。新しい環境で春を楽しむ時間もながく、少し立ち止まって春の風を感じ、空を眺める余裕を持ちたいものですね。私は広報に携わって5年以上になりますが、なかなかそんな余裕もなく締め切りに追われる日々です。(ひん)